

平成30年度 農山漁村振興交付金(地域活性化対策) 事業実施主体 評価一覧

●地域活性化対策

2件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階					評価	評価コメント	
				H30	R1元	R2	R3	R4	R5		
沖縄	沖縄	伊江村	伊江村農産物安心安全対策協議会	●	○	○	□			A	アジアン野菜の生産を軸にした、加工、販売まで一貫したビジネスモデルの構築を目指し、専門家による栽培技術指導や産業祭りでのアジアン野菜を使った料理のP R等の取組により、売上げ、雇用、情報発信・普及啓発活動について目標を達成できた。 次年度以降もアジアン野菜生産技術の向上、プロモーション活動等の取組、成果に期待ができる。
沖縄	沖縄	西原町	西原町観光まちづくり協議会	●	○	○	□			A	「文教のまち」西原における観光振興を通じ、地域社会や地域産業の活性化を図るため、観光コンテンツの開発、それに携わることのできる人材の育成を目指す取組を行った。教育民泊モニター、農地レンタル、お仕事体験イベントなど様々な取組を実施し、その成果として、売上げ、雇用、交流人口、情報発信・普及啓発活動について目標を達成している。 次年度以降も、魅力的な観光コンテンツの開発の取組、その成果に期待ができる。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調

【平成30年度農山漁村振興交付金(地域活性化対策)の評価概要】

今回の評価では、平成30年度採択の2地区の評価を行い、両地区とも総合評価はAであった。

伊江村農産物安心安全対策協議会はアジアン野菜の生産を軸とした活動を行い、祭り等のイベントで普及啓発を行うなど積極的に取り組んでおり、西原町観光まちづくり協議会は地域ぐるみのイベントを軸に、幅広い活動を行い、情報発信にも積極的に取り組んでいる。

両地区とも地域の活性化に貢献しており、適切に事業が実施され着実に成果が現れていると言える。

【令和元年度評価委員会の議事概要】

【評価委員会】

1. 日 時 令和元年7月24日（水）10時00分～12時00分

2. 場 所 沖縄総合事務局 会議室

3. 出席者

・評価委員会委員 3名 (五十音順)
有木 真理 リクルートライフスタイル沖縄社長
幸喜 徳子 沖縄石油ガス株式会社代表取締役会長
杉村 泰彦（委員長） 琉球大学農学部准教授
・評価委員会事務局 沖縄総合事務局 3名

4. 議事概要

1) 農山漁村振興交付金の評価について
地域活性化対策の各実施団体の評価内容（案）について、委員からの意見聴取を行った。

2) 農山漁村振興交付金の評価結果（案）のとりまとめ
上記1)の結果を踏まえ、地域活性化対策について、公表用評価コメントを様式にとりまとめた。

5. 評価委員会委員の主な意見

- ① 伊江村農産物安心安全対策協議会
アジアン野菜の生産を軸に、加工、販売まで一貫したビジネスモデルの構築を目指し、アジアン野菜生産技術の向上、アジアン野菜のPR等の取組を行つた。事業の成果は発揮されており、次年度以降の取組にも期待ができる。
- ② 西原町観光まちづくり協議会
観光振興を通じ、地域社会や地域産業の活性化を図るためのコンテンツ開発や人材の育成に取り組んだ。事業の成果は発揮されており、次年度以降の取組にも期待ができる。